

2016年度の主な事業報告

● 独立行政法人日本スポーツ振興センター スポーツ振興くじ助成事業は下記の通りです。

■ 第17回ジャパンオープン フレンドリーカップ



10月29日(土)、30日(日)に和歌山県田辺市の田辺スポーツパーク体育館において開催されたフレンドリーカップには96チーム、479名が集結し、日頃の練習の成果を発揮すべく

熱戦を繰り広げました。体育館入り口では地元の名産品などの販売があり、焼き鳥やしらす丼は疲れた選手たちの栄養源になったようです。和歌山県連盟は田辺市協会が中心となって活動しており、市の大会はもちろん2015年度には国体デモスポの大会を開催しました。そのスタッフの運営力を活かし、全国大会も滞りなく成功裡に終了しました。

■ 指導者派遣2016

全国各地で開催される講習会や体験会に指導者を派遣しました。支部こそまだ設立されていないものの、静岡県はキンボールスポーツの愛好者が多いところ。地理的条件のゆえに県全体での講習会や大会開催は難しいのですが、各ブロックでの開催は盛んに行われています。2月12日(日)に静岡県浜松市で行われたリーダー及びC級レフリー講習会では新規リーダー26名、新規C級レフリー22名が誕生しました。今後レフリーの練習を重ねていき、大会時には積極的にレフリーにチャレンジしていきたいと頼もしい意見も出ていました。



■ 全国指導者講習会2016

4月から3月にかけて全国各地で指導者及びレフリー育成、並びにスキルアップのための講習会を開催しました。フレンドリーカップの開催地である田辺市でも新規C級レフリー講習会並びにC級レフリーフォローアップ講習会が開催され、大会本番に向けレフリーの育成が行われました。また、7月16日(土)、17日(日)には国際連盟より講師であるピエール・ジュリアン・ハメル氏(通称PJ)を招聘し、国際資格であるレベル3レフリーの講習会を開催しました。今回の講習会で新たに5人のレベル3

レフリーが誕生し、現在日本には16人のレベル3レフリーがいます。レベル3レフリーはワールドカップなどの国際大会でレフリーを務めることができます。この中から何人のレフリーが選ばれて、日本大会である今年のワールドカップで活躍するのか楽しみです。また、この講習会でPJの指導のもと清水学さん(東京都)と岡村光洋さん(兵庫県)がレベル3レフリーを認定できる国際連盟公認マスターインストラクターの資格を取得されました。

● 他の主な主催・協力事業は下記の通りです。

■ 第17回ジャパンオープン チャンピオンズカップ

12月3日(土)に大阪府豊中市の豊泉家千里体育館において開催されたチャンピオンズカップには過去最多の男子40チーム、女子31チームが参加。翌日のアジアカップのために来日した各国からの参加もあり、国際色豊かな大会になりました。
※公益財団法人スポーツ安全協会 スポーツ普及奨励助成事業

■ アジアカップ 2016

12月4日(日)には上記体育館でアジアカップを開催しました。男女とも、中国、韓国、シンガポール、香港、マカオ、そして日本の6つの国・地域が参加。国際大会のためゼッケンはブルーを使用し、予選は11点2ピリオド先取、決勝は13点3ピリオド先取で行いました。ワールドカップ参加国以外のシンガポールや香港、マカオも参加してくれたことは非常に喜ばしいことであり、このスポーツがアジア各国で浸



透しつつある証です。優勝は男女ともに日本でしたが、その実力差は少しずつではありますが縮まってきています。国際大会の経験が彼らの技術向上に役立っており、熱心に練習を積んできているのでしょう。日本チームも奢ることなく謙虚に学び、本年のワールドカップでもアベック優勝を目指してほしいと思います。

※独立行政法人日本スポーツ振興センター スポーツ振興基金助成事業

■ 第70回全国レクリエーション大会 in 岐阜

9月24日(土)に岐阜県岐南町体育館と笠松町中学校屋内運動場において開催された種目別全国交流大会にはジュニアの部、フレンドリーの部ともに予定チーム数を大幅に超える参加があり、嬉しい悲鳴が上がりました。

■ 希望郷いわて国体記念 第9回岩手オープン キンボールスポーツ大会

9月11日(日)に岩手県雫石町立体育館において開催された本大会には25チームが参加。今年度リーダー講習会を受講した青森県の総合型スポーツクラブが大会に参加しました。青森県での普及も今後進んでいくことでしょう。